

市長のまちづくりふれあいトーク

10～20 歳代トーク 会議録

■日時 平成 27 年 1 月 28 日（水） 午後 8 時～9 時 40 分

■場所 ふれあいスポーツセンター 第 3 会議室

■参加者 7 名

■市出席者	氷見市長	本川 祐治郎	市民参加と協働・防災のデザイン課	荻野直樹、谷内博史
	企画振興部長	高橋 正明	総合政策課	藤澤一興、舛田建治

■次第

- 1 開会
- 2 市長あいさつ
- 3 出席者紹介
- 4 意見交換会
 - ・一人ひとり、市に対する要望を発表
 - ・2グループに分かれ、出された意見から具体的な政策を検討
- 5 閉会

意見交換会

意見	討論
<p>20代課つくってみたい 自分を主語にどんなことしてみたいか？ 政策提案してほしい</p> <p>ライフスタイルを自慢できるまち 氷見高校の真横に公園←公園の中にある高校という情景 氷見高生が遊べるカフェなど計画中 氷見高校の野球部が使用できる練習球場 朝日山公園にアイデアを 富山の環水公園を例に</p> <p>●市に対する要望 市政を知る機会がない 氷見高生WSで初めて知った →目に入るように発信を</p> <p>①「一人暮らし」にどんなことしていけるのか？ 若い人 高校生の視点での政策づくり</p> <p>②若い人たちが集える場づくりどうすれば？ 富山マグネット若者会議の例 スポーツ企画会社起こす=マネジメントできる人材との出会い</p> <p>③自炊の食材買いすぎて・・・どうしたら？</p> <p>④友だちとかUターンをどうすすめるのか？</p> <p>⑤パワフルな高齢者と若者が一緒に何かする IT 若者得意クラウドファンディング+起業したい 50～60代</p> <p>⑥転入者に100万円！というところあるけど、氷見もあれば 若い人が帰ってくるには 政策提案+事実の数字</p>	<p>●2班に別れ討議</p> <p>①+②+③ よそから来て氷見に住む人 ワンルーム物件がなかなかない 空き家バンクは古くて魅力的ではない 分譲系・・・現在2LDK使っている</p> <p>空き家のルームシェア 市として進める 改修 賃貸 高岡まちっこプロジェクト 一人暮らし同士のコミュニティ テラスハウス in ひみ 食材もシェア←一人暮らし用パック売ってない</p> <p>④+⑥ 氷見のいいところ 災害の被害少ない 税金が安い イメージ 田舎は住みやすい、子育てしやすい、高齢者も暮らしやすい。 都会は<u>仕事</u>しに行くところ ここが不足している 企業誘致 空き物件を事務所として使う これを大学生にアピールしていけば 氷見に帰ってくる人ターゲットにした施策</p>

●まわりの友だちと遊びに行く 氷見で遊ぼうとなるには？

- ・スポーツ、サッカー陸上など外でするスポーツの施設整備は？

⇒高岡に新しい球場できているが立派過ぎる。

最低限大会などできるもの

→球場練習は現在2時間かけて石川まで移動

●高校生時代の思い出

- ・運動会のダンス練習の場所に困った

- ・球技大会できるところなどもあれば

→小中学校のクラブチーム練習←ここに氷見高生が教える

交流の場にする

- ・高岡イオンに行ってた！→最新プリクラ（画像にこだわる）、

マック、クレープ

⇒地域協働スペースにプリクラ クレープ焼いてる市役所